



きさか ゆく
木阪 ユク（昭和60年11月22日御逝去）

高屋町出身

医師として永年にわたって地域住民の健康保持に努め、住民福祉の向上に献身的に貢献された。特に西条小学校医として50年間、児童の健康管理と保健指導に尽力された。

顕彰 昭和57年7月17日



しげとう ふみお
重藤 文夫（昭和57年10月18日御逝去）

西条町出身

広島赤十字・原爆病院長として大きな功績を残された。とりわけ原爆障害治療に対する豊富な体験と研究は、世界各国の文献や学会誌に紹介され、原爆医学の研究に大きな力となった。

顕彰 昭和57年7月17日



ふじいみのる
藤井 實（平成元年8月22日御逝去）

府中市出身

国立療養所広島病院長として多年にわたり結核医療に専念され、日本胸部疾患学会会長等を歴任された。また、地域の中核病院の院長として、地域住民の保健衛生向上に尽力された。

顕彰 昭和57年7月17日



たけのり いっすい
武則 一水（昭和58年1月5日御逝去）

西条町出身

初代東広島市長として4年、西条町長を通算20年余、広島県議会議員を通算17年余歴任された。地方自治の発展と住民福祉の向上に貢献され、とくに広島大学の誘致と東広島市制の実現に尽力された。

顕彰 昭和57年7月17日



いしい たけし
石井 武（平成2年8月30日御逝去）

西条町出身

賀茂鶴酒造株式会社社長として、永年にわたって郷土産業の酒造業発展に尽力され、地域産業の育成及び地域社会の発展と文化向上においても指導的役割を果たされた。

顕彰 昭和57年7月17日



ぬまた えはん
沼田 恵範（平成6年5月5日御逝去）

志和町出身

株式会社三豊製作所を設立後、国産化は不可能とされていた精密測定機の開発に成功し、わが国の産業発展と輸出産業の振興に寄与された。また、市内に精密測定機の一貫生産工場をつくられ、テクノポリス建設にも大きく貢献された。

顕彰 昭和62年1月24日



いとう いさお
井藤 勲雄（平成元年6月11日御逝去）

西条町出身

株式会社広島銀行の会長として、多年にわたり地域の産業経済の発展に貢献された。また、広島大学の誘致と統合移転に尽力されたほか、ひろしま美術館を開館するなど、教育文化の進展にも寄与された。

顕彰 昭和62年1月24日



いちおか たけお
市岡 武夫（平成5年12月22日御逝去）

西条町出身

賀茂鶴酒造株式会社の役員として、醸造酒の品質向上に指導的な役割を果たし、酒造業の発展に貢献された。また、社会奉仕団体を設立して社会福祉の向上を図り、全国的な盆踊り大会を開催するなど文化振興に寄与された。

顕彰 平成5年1月21日



たかはし せきじ
高橋 績二（平成12年11月15日御逝去）

八本松町出身

東広島市議会初代議長として地方自治の発展と住民福祉の向上に貢献された。また、医師として地域住民の健康保持に尽力されたほか、奨学基金を創立し教育環境の整備と青少年の健全育成に努められた。

顕彰 平成5年1月21日



さたけ としひこ
佐竹 利彦（平成10年7月24日御逝去）

西条町出身

株式会社佐竹製作所の代表者として穀類機械の新機種を次々と開発し、産業発展と穀類の加工改善に貢献された。また、椰子の収集・分類の世界的な権威として学究の指導教育に尽力され、商工会議所の初代会頭として商工業の振興にも努められた。

顕彰 平成5年1月21日



おおやま ひろし
大山 廣司（平成21年9月4日御逝去）

安芸津町出身

広島県議会議員として56年間在職し、その間、県議会議長及び全国都道府県議会議長会会長を務められるなど、地方自治の発展と住民福祉の向上に貢献された。また、広島中央テクノポリス地域の整備等、本市の発展と地方自治の伸展に貢献された。

顕彰 平成19年8月10日



さぬき てるお
讃岐 照夫（平成28年7月7日御逝去）

西条町出身

第2代東広島市長として20年にわたり市政の舵取り役を務められ、その間、上下水道の整備をはじめ、学園都市の実現、広島中央テクノポリス地域の整備等、本市の飛躍的な発展と住民福祉の向上に貢献された。

顕彰 平成19年8月10日



おかだ しげる
岡田 茂（平成23年5月9日御逝去）

西条町出身

日本映画製作者連盟会長を長年務められ、日本の映画産業の振興と文化の高揚に尽力された。また、本市へのゴルフ場、映画館の設置に努められ、健全なレジャー環境の向上に貢献された。
顕彰 平成19年8月10日



たにかわ かずお
谷川 和穂（平成30年6月8日御逝去）

志和町出身

昭和33年に、当時、全国最年少で衆議院議員に初当選、以来、防衛庁長官、法務大臣などの要職を歴任された。また、広島大学の本市への統合移転の構想実現に尽力されるなど、学園都市の構築と発展に貢献された。
顕彰 平成19年8月10日



おかもと あやこ
岡本 綾子

安芸津町出身

プロゴルファーとして、日本人初のアメリカツアー年間獲得賞金女王となるなど、国内外で活躍されている。平成17年には栄誉ある世界ゴルフ殿堂入りを果たされた。その輝かしい業績と常に努力と研鑽を怠らない姿勢は、青少年や多くの人々に夢と感動と勇気を与え、スポーツ文化の高揚に貢献されている。
顕彰 平成19年8月10日



やまなか かつみ
山中 勝巳

安芸津町出身

大相撲力士「安芸乃島」として多年にわたり活躍された。小兵でありながら歴代の横綱から勝ち星を挙げ、最高位は関脇、三賞受賞回数19回、金星獲得数16個という輝かしい業績を残した。現役引退後は、高田川親方として後進の育成、指導に尽力されている。

顕彰 平成26年5月7日



さたけ としこ
佐竹 利子（令和3年10月5日御逝去）

西条町出身

株式会社サタケの代表として、社会の発展及び食品機械・農業機械産業の振興に寄与された。また、創造性豊かな人材育成、被災地への支援、中山間地域の活性化など、社会への奉仕や地域課題の解決に多大な貢献をされた。

顕彰 令和元年6月25日



はらだ やすお
原田 康夫

呉市出身

広島大学長在任中に、東広島市へのキャンパス統合移転を完了させ、本市が学園都市として発展するうえで大きな役割を果たされた。また、世界トップレベルの総合研究大学を目指し、先駆的な大学改革や国際化に積極的に取り組まれ、広島大学の発展に貢献された。

顕彰 令和7年8月1日



やまうち よしはる
山内 吉治

高屋町出身

市制施行以来、最も長い3期12年にわたり教育長を務められ、本市の高い教育水準の維持と、地域の特色を生かした優れた教育に大きく寄与された。学校教育だけでなくスポーツや文化芸術といった社会教育の振興にも尽力され、東広島を担う人材の育成に貢献された。

顕彰 令和7年8月1日